

高校生「文学模擬裁判」日本一決定戦 要項

主催：一般社団法人 刑事司法未来PJ、龍谷大学犯罪学研究センター（法教育ユニット）・龍谷大学札壱研究室

後援：矯正・保護総合センター、龍谷大学法情報研究会、京都教育大学附属高等学校模擬裁判同窓会

1 本大会のねらい

- (1) 法的思考力や刑事（裁判員）裁判の意義の理解にとどまらず、広く人間や社会までを視野に入れた「国語的」模擬裁判を通じて、人間や社会を考える眼差しを深める。
- (2) 「文学模擬裁判」という教科横断的な新しいメソッドの普及を図り、日本の教育の質向上や日本の刑事司法の未来を支える担い手を育成することに寄与する。
- (3) 模擬裁判に関わる高校生同志の交流を図る。

2 日時場所等

- (1) 実施日 2023年3月19日（日）
- (2) 実施方法 対面実施
- (3) 実施場所 (株)TKC 東京本社内 模擬法廷 〒162-8585 東京都新宿区揚場町2-1 軽子坂MNビル2F

3 出場校（アルファベット順）

中央大学杉並高等学校（東京）
神戸女学院高等学部（兵庫）

4 競技方法

参加校は第2回オンライン高校生模擬裁判交流戦優勝校・神戸女学院高等学部と第3回オンライン高校生模擬裁判選手権優勝校・中央大学杉並高等学校の2校であり、両校の直接対決とする。

参加校は、予め配布される文学教材や関連資料をもとに、検察側・弁護側それぞれの立場に立って立証・弁護活動を行う。シナリオ創作型の模擬裁判である。

参加校は決められた時間に従い立証・弁護活動を行い、検察側・弁護側両方の立場で模擬裁判を行うことになる（午前中の試合で検察側を担当したチームは、午後弁護側を担当する。逆に、午前中の試合で弁護側を担当したチームは、午後弁護側を担当する）。優勝校、MVP（最優秀選手賞）を決める。

5 採点基準

読解力、人間や社会への洞察力、論理性、表現力等の視点から採点する。採点方法については別途決める。

6 各チーム人員

1試合に必要な生徒数は、検察側・弁護側いずれの立場でも最低5名である（被告人役、証人役は生徒が行う）。当日参加する選手の人数は検察側・弁護側それぞれ7名以内計14名までとする。

7 費用

参加費は無料。遠隔地の学校には交通費等を支給する。

8 準備活動について

教材及び具体的なルールや実施方法を記載した書面を参加各校に送付し、争点についての立証・弁護方針を定め、証人尋問、論告・弁論等の準備をする。参加メンバー表については別途連絡する。

9 参加条件

次の3つの条件を満たすこと。

- (1) 学校長の許可を得ること。
- (2) 趣旨に賛同できること。

10 問い合わせ

〒600-8268 京都市下京区七条大宮東入大工町125-1

龍谷大学大宮キャンパス西翼129号室

札壱研究室 宛

TEL075-343-3326

E-mail:fudafuda@let.ryukoku.ac.jp